

外来生物について楽しく学ぼう

こども学習サイト

みんなは、「外来生物」って言葉を聞いたことがあるかな？
今、外来生物によっていろんな問題がおきているんだ！
みんなでいっしょに外来生物について考えてみよう。



Q 外来生物ってなあに？



外来生物ってなんだろう？

ぼくたちのまわりにもいるのかな？

Q まわりに外来生物がいるのか考えてみよう

みなさんのまわりにも、きっと外来生物はたくさんいます。
どんな外来生物が身のまわりにいるのか考えてみましょう。

A 外来生物ってなあに？

外来生物とは、もともと日本にはいなかったけれど、人間が外国から持ち込んで日本にいるようになった生きもののことだよ。

もちろん、動物だけじゃなくて、植物や昆虫、魚、微生物にだって外来生物はいるんだ。

野生で生息・生育していたり、ペットとして飼われているほかに、みんなが食べていたり、食べものを作ってくれる外来生物もいるよ！
どんな生きものがいるのか見てみよう。



🔍 身近にいる外来生物たち

◆野生で生息・生育している



アメリカザリガニ



ドバト



セイヨウタンポポ

◆ペットとして飼われている



セキセイインコ



ハムスター



ハリネズミ

◆みんなが食べている



ニジマス

◆食べものを作ってくれる



セイヨウミツバチ



ホルスタイン

Q 外来生物はどうして日本にいるの？



私の周りにも外来生物はたくさんいるんだね！

でも、どうやって外国から日本にやってきたの？

Q どうやって日本にやってきたのか考えてみよう

次の3種類の生きものは、それぞれ日本に住んでいる外来生物です。

それぞれがどうやって日本へやってきたのか考えてみましょう。

①アカミミガメ (ミドリガメ)



②アメリカザリガニ



③セアカゴケグモ



A 外来生物はどうして日本にいるの？

外来生物は、いろいろな方法で日本にやって来るんだ。
人間が意図しない場合でも持ち込まれてしまうことがあるから、注意が必要だね。



Q 外来生物はどのようにやって来るの？

① ペット、観賞用として持ち込まれる



アカミミガメ

ミドリガメとも呼ばれ、ペットとしてアメリカから輸入された。
現在は全国の水辺に分布している。



アライグマ

1970年代にアニメの影響で全国で飼われていたが、逃げ出したり、捨てられたりして広がった。



オオキンケイギク

観賞用や緑化用として、輸入されたものが現在では全国に広がった。
道端や河川敷に分布している。

② 農作物や食用など産業の目的で持ち込まれる



ウシガエル

食用として、1918年にアメリカから輸入された。牛のような鳴き声で、現在は全国の水辺に分布している。



アメリカザリガニ

ウシガエルのエサとして、1927年にアメリカから輸入された。現在は全国の水辺に分布している。



モウソウチク

竹細工の材料や食用（タケノコ）、観賞用として中国から輸入された。現在は全国に分布している。

③ 荷物や乗り物と一緒に持ち込まれる



セアカゴケグモ

建築資材などに紛れ込んで侵入したと考えられている。主に西日本で健康被害も発生している。



アルゼンチンアリ

1993年に広島県で初めて発見された。建築資材などに紛れ込んで、侵入したと考えられている。



アレチウリ

アメリカやカナダから輸入した大豆の種子が混入しており、豆腐屋を中心に拡大したといわれている。全国の河川敷などに分布している。

Q 何が問題になっているの？



外来生物はいろいろな方法で日本にやって来るんだね。

でも、どうして外来生物が問題となっているの？

外来生物には、まわりに悪い影響を及ぼす種類もいるからなんだ。

どんな影響を与えるのか、みんなで考えてみよう！



Q 外来生物の及ぼす影響について考えてみよう

次の3種類の生きものは、それぞれ東京都で確認されている外来生物です。

それぞれがどんな影響を及ぼしているのか考えてみましょう。

① グリーンアノール

(ヒント：世界自然遺産に登録された小笠原諸島で問題になっている、トカゲの仲間だよ)



② セアカゴケグモ

(ヒント：公園のベンチの裏などに隠れていて、驚くとかみつことがあるよ)



③ アライグマ

(ヒント：雑食でいろいろなものを食べてしまうよ)



A 何が問題になっているの？

外来生物はその地域の生態系や人間の健康、農林水産業まで
いろいろなところに影響を及ぼすんだ。
どんな影響があるのか詳しく見てみよう。



Q 外来生物の及ぼす影響

<生態系への影響>

もともとその地域に住んでいた生きものを食べたり、
エサを横取りすることで、もともと住んでいた生き物を絶滅させたり、
その地域に成立していた生態系のバランスを崩してしまう可能性があります。



① グリーンアノールの問題

小笠原諸島は、固有の生きものや生態系が評価されて世界遺産に登録されています。

しかし、外来生物のトカゲ「グリーンアノール」が侵入し、全島に繁殖した父島・母島では、島固有のチョウやセミなどの昆虫がほとんど食べられていなくなってしまう、絶滅の危機に直面しています。

2013年には、特に貴重な自然の残る兄島への侵入が確認され、大きな問題となっています。

グリーンアノールは、ペットとして飼われていたものが逃げ出したり、アメリカ軍の荷物に紛れていたといわれていますが、どのように小笠原諸島にやってきたかは詳しくわかりません。

<人の生命・身体への影響>

今までいなかった生きものの中には、みんなが知らない危険が
潜んでいることもあります。例えば、毒を持っている外来生物に
かまれたり、さされたりする危険もあります。



② セアカゴケグモの問題

平成 26 年 9 月に東京都内で初めて有毒の外来生物のクモ、「セアカゴケグモ」が発見されました。

おくびょうな性格で、何もしなければクモの方から攻撃してくることはほとんどありませんが、まれにかまれて中毒症状を起こすことがあるので、危険です。

原産地のオーストラリアでは、かまれた人が亡くなったこともあるので、注意が必要です。

東京都に住み着いていることは確認されていませんが、大阪や福岡などの西日本ではすでに広い範囲に住み着いていて、みんなで注意合っています。

<農林水産業への影響>

外来生物の中には、畑を荒らして農作物を食べたり、
漁業の対象となる生きものを食べてしまい、
経済的にも悪い影響を及ぼす種類もいます。



③ アライグマ・ハクビシンの問題

外来生物の「アライグマ」や「ハクビシン」が畑を荒らしてしまう被害が報告されています。

スイートコーンやカボチャ、スイカ、ブドウなどの甘い野菜や果物を中心に、東京都では平成 26 年度の 1 年間に、486 万分の農作物が被害を受けました。

たいさく
Q どんな対策が行われているの？



広がるこまと困る外来生物は多いんだね。

ふせふせ防ぐ方法はないのかな？

Q 外来生物の対策について調べてみよう

東京都にも影響を及ぼしている外来生物には、いろいろなたいさく対策が取られています。
どのような対策が行われているか調べてみましょう。

①グリーンアノール

(ヒント:「グリーンアノール 小笠原 対策」で検索してみよう)



②アライグマ

(ヒント:「アライグマ 東京 対策」で検索してみよう)



Q どんな対策が行われているの？

外来生物対策は国や地方自治体、事業者など様々な場所や団体で行われているよ。
その一部を見てみよう。



Q 外来生物の対策について

① グリーンアノール

小笠原諸島では、他の島に渡らないように、港の周辺において粘着性のトラップを使って捕まえるなどの対策を行っています。また、特に貴重な自然が残る兄島では、昆虫類を守るために、グリーンアノールが侵入した森の外側を柵で囲い、その内側にトラップの設置するなどの取組が行われています。



粘着性トラップ

② アライグマ

狩猟免許※を持った人が、箱わなを設置して捕獲しています。取組みの結果、東京都では平成 26 年度の 1 年間で 341 頭のアライグマが捕獲されました。



箱わな設置の様子

※鳥や獣を捕まえる許可のこと。捕まえるためには免許が必要です。

グリーンアノールやアライグマなどの悪い影響を及ぼすおそれのある外来生物は、「外来生物法※」という法律で「特定外来生物」に指定されているんだ。

特定外来生物は、これ以上悪い影響を広げないように、次のことが規制されているよ。



<特定外来生物で規制される事項>



※特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律

特定外来生物で規制される事項

出典：「外来生物法」-環境省- を一部改編

<http://www.env.go.jp/nature/intro/1law/regulation.html>

Q ^ふ増やさないためには、どうすればいいの？



外来生物の被害を防ぐのは大変なことなんだね。

被害を防いだり、これ以上外来生物を増やさないために、

わたし
私たちはどうすればいいんだろう？

Q 私たちには何ができるか考えてみよう

外来生物を増やさないために、一人ひとりに何ができるか、みんなで考えてみましょう。

A ^ふ増やさないためには、どうすればいいの？

一人ひとりが、外来生物に対して正しい知識^{ちしき}を持って、被害を防止するように行動することが大事だよ。
どんなことができるのか見てみよう。



🔍 私たちができること



1. 入れない

どんな影響^{えいきょう}を及ぼすかわからない外国の生きものは、むやみに日本に持ち込まないことが大切です。

海外旅行に行ったときは、生きものをむやみに持ち帰らないようにしましょう。

また、靴^{くつ}の裏^{うら}などに土や植物の種^こがくっついていて、気づかずに持ち込んでしまうこともあるので、注意が必要です。

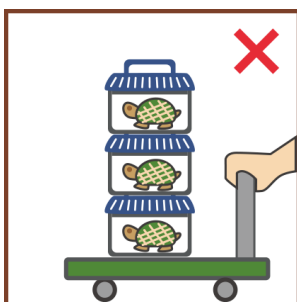


2. 捨てない

ペットとして飼われている生きものが野外に捨てられた時に、その生きものがどんな影響を及ぼすかはわかりません。

ペットは最後まで責任を持って飼うことが大切です。

生きものを飼うときには、最後まで飼い続けられるかよく考えてから飼いましょう。



3. 拡げない

生きものが自分で移動^{いどう}できる範囲^{はんい}は限^{かぎ}られていて、それ以上に拡げてしまうのは人間です。ペットを捨てないだけでなく、すでに野外にいる外来生物は他の地域に拡げないために、運んだり、移動させたりしないことが大切です。

もし、捕まえた生きものを放すときには、もともといたところに帰してあげるようにしましょう。

Q 外来生物についてもっと知るには？



外来生物についていろいろわかったよ！
もっとたくさん知りたいな。

外来生物について書いてあるホームページを紹介するよ。
他にもいろいろなページがあるから、どんどん調べてみよう！



🔍 もっと調べるには

◆しってるかな？外来生物。（環境省こどものページ）

→<http://www.env.go.jp/nature/intro/kids/index.html>
外来生物の問題や、生きものを飼う時の注意が紹介されています。

◆日本の外来種対策（環境省自然環境局ホームページ）

→<https://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>
環境省の外来種対策のページです。
外来生物の被害予防や、これまでに特定外来生物に指定されている生きものの一覧、外来生物法について詳しく知ることができます。

◆侵入生物データベース（国立環境研究所ホームページ）

→<http://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/index.html>
日本にやってきた外来生物について、種ごとにくわしい解説がのっています。
生きものけいりの名前や侵入経路などを指定して、検索することができます。

◆東京都環境局 緑の創出と自然環境の保全（東京都環境局ホームページ）

→<https://www.kankyo.metro.tokyo.jp/nature/index.html>
東京都の取組む自然環境の保全事業や、外来生物対策について知ることができます。

この資料についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。
東京都環境局 自然環境部計画課 / TEL 03-5388-3548 FAX 03-5388-1379